

ダイコン新品種 『夏元太』の上手なつくり方

雪印種苗(株) 千葉研究農場

松井誠二

1はじめに

夏ダイコンは、北海道、東北、関東以西の高冷地で生産、出荷されていますが、暑さを中心とする天候の影響を非常に受けやすく、収量、品質ともに非常に低下しやすいので、栽培が難しい作型です。また、暑さ以外にも台風、梅雨、干ばつなどに影響されやすく、年次変動の幅が大きい事も特徴です。

その結果、この作型は連作障害に関連した、萎黄病や軟腐病などの病害を始め、赤芯・黒芯などの生理障害が多くみられ、年によっては、大きな打撃を被ることになります。また、異常気象による抽苔の発生もしばしば問題になります。

ただし、その分、市場価格は比較的高値で推移し、昨年の9月出荷のように、出荷一箱当たりの価格が2,000円以上になることもあります。農家経営としては魅力のある作型でもあります。

このように、栽培が難しい夏ダイコンの中で、病害、生理障害、抽苔に強い品種として発表したのが『夏元太』です。今回は今迄、青果、加工用として普及している中で、暑さと天候の年次変動を考慮した、夏元太の安定栽培のポイントを紹介いたします。

2『夏元太』の生育特性と栽培上の注意点

①安定した晩抽性

喜太一ほどではありませんが、夏ダイコンの中では晩抽性のほうです。(播種期は表1を参考にしてください)。

特に、播種始めは、まだ寒い日と

暖かい日が入り交じった時期でもあり、透明マルチは事前に張って地温を高めておき、暖かい日中に播種を行うように努めて下さい。

透明マルチ栽培で地温を高めておいてから、播種後パストライトなどのべたがけ被覆を行えば、東北・高冷地の6月上旬播き、関東以西の高冷地5月上旬播き、一般地の4月上旬播きが可能となり、播種期の前進化に貢献できます。

②草勢がおとなしい

葉は照りのある濃緑色、半立性、やや太茎の小葉で、葉勝ちになりにくい品種です。ウイルスには強いほうで、露地栽培にも適しています。ただし、乾燥条件が長く続き過ぎると、アブラムシ等により感染することがありますので、その場合は、農薬散布をなるべく早目に行なうことが重要です。発芽が揃ったら、薬害に注意して1回目を行なって下さい。初期に病害虫の防除作業を省くと、初期生育を停滞させ、収穫物の品質にも影響しやすくなります。

③尻つまりが早く、総太り型に仕上がる

高温期のダイコンは一般に尻流れになり、ボリューム不足になりますが、夏元太は尻つまりが早く、ずっしりと重みのある根形に太ります。

表1 夏元太の栽培時期

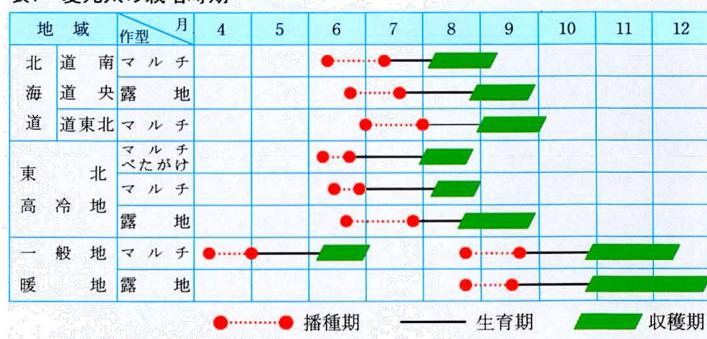




写真1 7月播き・露地栽培（青森県）

根の長さも37cm位に適度に揃います。

根の太りはやや遅めで、55～60日位かかりますので、低温期にかかる早播きと遅播きは、施肥をやや多めにするほうが肥大が進みます。また、高温期は施肥によっては品質が低下しやすく、注意が必要です。特に、高温期の化成肥料の使用は、太りを早めるものの、初期から肥効が強く現れやすく、根の曲がりや毛穴、根形の乱れなど品質低下の原因となります。従って、高温期は有機質肥料を中心とした、遅効性でかつ肥効切れしないものを使用して、品質の向上を図る必要があります。

④病害、生理障害に強い安定多収品種

軟腐病の多発は、ダイコンの出荷量に大きく響きます。特に、高温、多肥、多湿、台風などが原因となります。夏元太は各産地の結果から、夏ダイコンの中でも軟腐病に強い品種で、安定した収量性を確保することができます。ただし、残肥がありすぎる畑、排水不良な畑、風通しの悪い畑では品質の低下が心配されますので、施肥量の把握と圃場選定が必要です。

萎黄病に対しては、夏ダイコンの中でも比較的強いほうで、ある程度汚染された畑での栽培にも適します。ただし、汚染の程度が深刻な畑での栽



写真2 有機質肥料を使った栽培の取り組み

培にはむきません。

黒芯、赤芯は、高温、乾燥、多湿、肥料不足、ホウ素欠乏、収穫遅れなどによって発生しますが、夏元太は発生しにくく、安心して栽培できる品種です。また、高温期のシルバーマルチ栽培は、土壌の養水分を保持できやすく、生理障害対策に有効ですが、畑の水分が十分にあるのを必ず確認してから、マルチ張りを行って下さい。なお、高温期の栽培では必ず微量元素肥料（F T Eなど）を使用して下さい。

⑤夏ダイコンの土作り、播種準備の徹底

夏ダイコンは、上記で述べてきたように栽培が難しいため、品種力に頼った栽培をしそうると、品種特性を超えた思いがけない病害・生理障害（横しま症、ダイコンそうか症（こぶ症）、空洞症、裂根等）に直面することができます。

大きな原因としては、気象変化に対して土壌の物理性（団粒構造、耕土深）を維持できない畑が増えて、土が湿りやすく、乾きやすくなっている事が考えられます。篤農家ではプラウ耕、サブソイラー耕による硬盤破碎や『ヘイオーツ』、『ソイルクリーン』などの緑肥作物の深根性を利用しての耕土深の拡大が図られており、ダイコンの高品



写真3 夏ダイコンは土作りが重要

質生産に貢献しています。また、播種準備の良し悪しも高品質生産には大きく影響します。ロータリーゲル起・整地は土壤の水位が十分に下がってから行なうことが重要で、雨上がりのロータリーゲルのタイミングには注意が必要です。

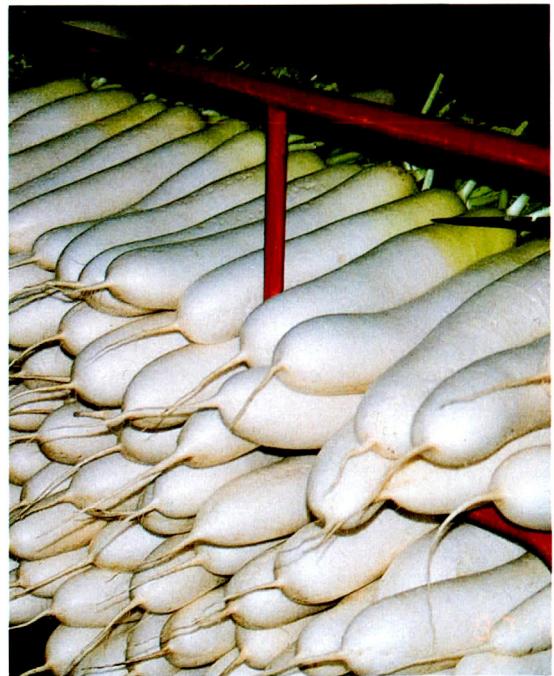


写真4 ボリューム感があって加工にも向く

3. おわりに

以上、夏元太の上手な作り方について述べました。各産地の栽培方法に照し合わせ、夏元太の高品質栽培に少しでも参考になれば幸いです。

緑肥パワーを実感ください！

ヘイオーツ

キタネグサレセンチュウ対抗作物

○マリーゴールドより栽培容易ではるかに実用的

○根物野菜の前後作に最適

播種期

- 1) 3月中旬～5月下旬(秋物野菜への利用)
- 2) 8月下旬～9月上旬(トンネル春ダイコンへの利用)
- 3) 10月下旬～11月下旬(越冬栽培)

播種量 10～15kg/10a散播



立派なダイコンが取れます